



平成 22 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 L T T バイオファーマ  
代表者名 代表取締役社長 鈴木 巖  
(コード番号 4 5 6 6 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役研究開発本部長 新居 泰  
( T E L 0 3 - 5 7 3 3 - 7 3 9 1 )

### 平成 22 年 3 月期の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 21 年 4 月 30 日に公表した業績予想と本日発表の平成 22 年 3 月期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 22 年 3 月期業績予想との差異

##### (1) 連結業績予想との差異 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	150	△401	3	12	95 42
今回実績値 (B)	104	△500	13	47	361 45
増減額 (B-A)	△46	△99	10	35	—
増減率 (%)	△30.6	—	333.3	291.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	1,261	△907	△708	△14	△106 81

##### (2) 個別業績予想との差異 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	60	△382	32	41	311 75
今回実績値 (B)	58	△472	49	84	637 58
増減額 (B-A)	△2	△90	17	43	—
増減率 (%)	△3.3	—	53.1	104.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	24	△966	△617	49	375 06

## 2. 差異が生じた理由

### (連結)

売上高につきまして、連結子会社である株式会社マシンパーツ販売の売上高が当初見込みに及ばなかったため、グループ全体でも当初見込みを下回る結果となりました。これは、様々な営業活動の成果として将来の受注獲得につながる付着試験案件の引き合いは多数ありましたが、その後の受注獲得までに多くの時間を要してしまったこと等が主な要因であります。

また、当社の主要パイプラインである「PC-SODのネブライザーによる吸入投与」がNEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の推進事業に採択され、2年間に渡り助成を受けることが決まったため、当初見込みより多くの研究開発投資を行い、販売費一般管理費が増加したため営業利益では予算を99百万円下回りました。

営業外収益では、北京泰徳製薬有限公司からの受取配当金及び前述のNEDOの助成金を計上したこと等により、経常利益は10百万円当初予算を上回りました。

特別利益では、北京泰徳製薬有限公司に対する出資金の一部を売却したことにより、当期純利益は35百万円当初予想を上回る結果となりました。

### (個別)

個別につきましては、売上高は当初見込みとほぼ同等の結果となりました。利益に関する差異の要因は、連結において記載した理由と同様であります。

以上